

- ▶ 瀬戸内町では、地元小中学校と連携して、木材利用を通じた地域住民への森林整備への理解の醸成に取り組んでおり、森林環境譲与税を主に木材利用に充てていく方針。
- ▶ 令和元年度においては、以下の取組により、木工体験学習と普及啓発活動を行った。
 - ・ 奄美大島産材（リュウキュウマツ）を活用し、木工体験学習に取り組み、地元小中学生及び地域住民を対象に、木材利用と森林整備の結びつきについての理解を促した。
 - ・ 令和2年度においては、引続き小中学校と連携した木工体験学習及び既存木製品の修繕を行い、木材利用の拡大を図る。

□ 事業内容

1 木工体験学習

- ・ 奄美大島産材を活用し、木工体験学習（集落名看板製作）を実施。
- ・ 地元小中学校および地域住民と連携することで、木材利用の意義について理解を深めた。

【事業費】891千円（全額譲与税）

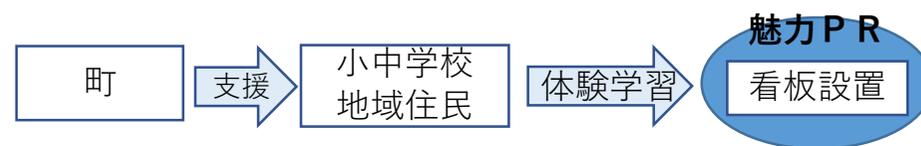
【実績】制作枚数 10枚



（1 木工体験学習の様子）

□ 事業スキーム

2 木工体験学習



□ 工夫・留意した点

- ・ 奄美産材を活用した木工体験学習を小中学生および地域住民の方々を行うことで、自然や林業の将来の姿を考える機会を提供。
- ・ 木製看板を設置することで、木材普及活動を行った。

□ 基礎データ

①令和元年度譲与額	1,916千円
②私有林人工林面積（※1）	218.43ha
③林野率（※2）	85.8%
④人口（※3）	9050人
⑤林業就業者数（※4）	27人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より